

事務事業	11037	中高生世代の居場所維持管理事業	担当課 課長	子育て支援課 吉原正治	担当係 担当者	子育て支援係 小林敦香
計後 画期 体計 系画	施策	07 子どもの権利を守り、安全で健やかに成長できる まちをつくる	予 算 科 目	会計	1	一般会計
	取り組み方針	240 子どもの居場所をつくる		款	3	民生費
				項	3	児童福祉費
				目	6	子育て支援事業費
基本事業						
法令根拠条例等	建築基準法、消防法、志免町子どもの権利条例		個別計画			
実施期間	□28年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 H19 年度より開始		□期間限定(複数年)		年度～	年度

【事業の目的・内容】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください) 中高生世代の居場所として開放している坂瀬共同利用施設の維持管理として、破損箇所の修繕、 機械警備、消防用設備の点検等を行う。	<input type="checkbox"/> 2次評価会議に提出します (左にチェックを入れる)	
	主 な 事 業 費 の 内 訳	子育て支援設備整備工事 227 千円
		機械警備委託料 65 千円
		消防設備点検委託料 25 千円
【業務内容(町職員の仕事内容)】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください) 修繕、業務委託契約、工事請負契約、委託金等の支払	千円	千円

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

事務 事業 の 目 的	① 手段(主な活動) 28年度に行った主な活動(※箇条書きで記入) ・機械警備委託 ・消防設備点検委託 ・電気設備修繕	④ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	指標数値			
	② 対象(誰、何を対象にしているのか) 坂瀬共同利用施設	名称	単位	27年度	28年度	29年度
		ア 委託業務数	件	1	1	1 (見込)
		イ 修繕数	件	1	0	1 (見込)
	③ 意図(この事業で、対象をどのような状態にしたのか) 施設の補修をして耐用年数を長くする。 必要な管理を行う。 事故がないようにする。	ウ 工事発注数	件	0	1	1 (見込)
		⑤ 対象指標(対象の大きさを表す指標)				
名称		単位	27年度	28年度	29年度	
⑥ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	ア 施設数	施設	1	1	1 (見込)	
	イ				(見込)	
	ウ				(見込)	
	名称	単位	27年度	28年度	29年度	
	ア 建築経過年数/税法耐用年数	年	目標 37/50 実績 37/50	38/50 38/50	39/50	
	イ 予定した維持管理業務の進行度	%	目標 100.0 実績 100.0	100.0 100.0	100.0	
ウ 事故発生件数	件	目標 0 実績 0	0 0	0		
エ		目標				
オ		目標				

(2) 総事業費の推移

事 業 費	財源内訳(千円)	27年度 (決算値)	28年度 (当初予算)	28年度 (決算値)	29年度 (当初予算)	30年度 (計画)	31年度 (計画)
	国・県支出金、地方債等						
	受益者負担等	2					
	一般財源	92	487	317	305		
	合計(A)	94	487	317	305	0	0
	(内臨時・嘱託職員人件費)						
	正職員人件費[按分](B)	446	277	429	373		
トータルコスト(A)+(B)	540	764	746	678	0	0	

事務事業評価表(事業実施年度:平成28年度)

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を開始したきっかけは何ですか?いつ頃どんな経緯で開始されましたか?	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化していますか?	③ 事務事業に対して関係者からどんな意見や要望が寄せられていますか?(誰からの意見か明記)
坂瀬共同利用施設は昭和53年から地域の公民館として使用されてきたが、別の施設を公民館として使用することになった。そこで、子どもの権利条例(平成19年施行)に基づいた子どもの居場所として、平成19年から坂瀬共同利用施設を開放したことにより、維持管理事業を行うことになった。	特にない。	特にない。

(4) 昨年度の評価結果の取り組み状況調べ

昨年度の事務事業評価結果		28年度の取り組み状況と今後の方針	
事業の方向性	平成28年度の取り組み概要及び期待される効果	実施状況	実施できなかった理由と今後の方針
<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 目的の見直し <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 事務事業終了 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続		<input type="checkbox"/> 記述どおり実施できた (コメント必要ありません) <input type="checkbox"/> 一部実施できた(理由→) <input type="checkbox"/> 実施できなかった(理由→)	

2 評価(SEE)及び全体総括の部*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

(1) 評価

	評価の理由
目的妥当性評価 ① 上位施策への貢献度は大きいですか?※総合計画を参照してください <input type="checkbox"/> 貢献度大きい(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度ふつう(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度小さい(理由→) ② 税金を使って達成する目的(対象と意図)ですか? (事業の目的は、総合計画の町の役割や基本方針に合っていますか?) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である(理由→) <input type="checkbox"/> 妥当性が低い(理由→)	子どもの居場所として使用している施設を快適に利用できるように環境を整える維持管理事業は、子どもが心も体も健やかに育つ政策に結びついている。 町の施設であるため妥当である。
有効性評価 ③ 成果がこれ以上向上する余地(可能性)はありますか? <input type="checkbox"/> 成果向上余地がある(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地がない(理由→)	予算の範囲内で必要な維持管理を実施しているため、継続して安全な状況が保たれている。
効率性評価 ④ 廃止・休止した場合、成果への影響はありますか? <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり(理由→) <input type="checkbox"/> 影響なし(理由→)	施設を安全、快適に使用できなくなる。
⑤ 現状の成果を落とさずにコスト(予算+事務従事時間)を削減する新たな方法はありますか?(広域連携や民間委託等の導入など) <input type="checkbox"/> ある(具体的な内容→) <input checked="" type="checkbox"/> ない(理由→)	機械警備委託・火災報知機等点検委託は、必要とする内容を委託しているので削減余地がない。 必要最低限の業務はすでに委託しており、委託以外の職員の事務従事については、施設維持管理に必要な業務時間である。 町の施設管理であるため、特定の受益者はいない。

(2) 28年度を振り返って(全体総括・反省点)

大きな修繕はないが、建物が老朽化しているため、修繕しないとイケない箇所もある。

3 今後の方向性(29年度以降の計画と30年度予算への反映)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可)	(2) 平成29年度以降に取り組む内容と期待される効果
<input type="checkbox"/> 廃止・休止(理由→) <input type="checkbox"/> 目的の見直し(内容→) <input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)内容→ <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)内容→ <input type="checkbox"/> 事業終了 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続	